

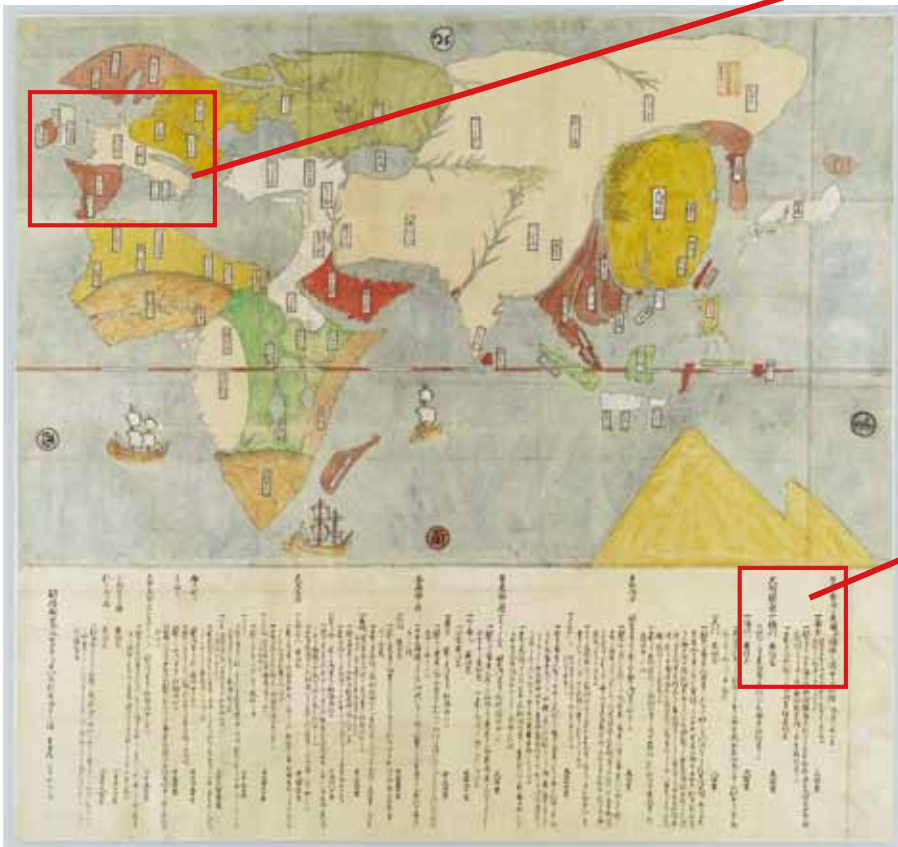
シリーズ
山口大学所蔵の学術資産
Yamaguchi University

山口大学は、教育・研究に資するため
これまで貴重な学術資料を多数収集してきました。
その内容は、古文書、古典籍、考古、美術、民俗、鉱物など
多岐にわたっています。
それらを教育・研究の場で活用し、未来へ引き継ぐため
学術資産継承事業委員会において保存・継承活動を行っています。
ここではそうした貴重な学術資産をリレー形式でご紹介していきます。

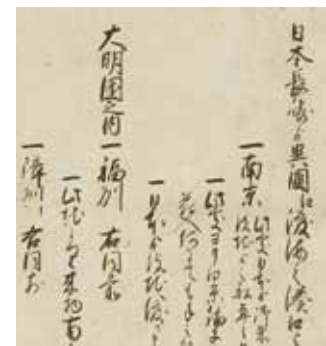
01. 江戸時代初期に作成された大変珍しい世界地図

パンコクソウス
『万国惣図』

(山口大学図書館所蔵「棲息堂文庫」から)



万国惣図(地図の左部分)
『いたりや』『ろうま』『ふらんさ』
当時の国や都市名が確認できる。



万国惣図(地図の下部分)
『日本長崎』『南京』『大明国』など、
当時の地名が確認できる。

万国惣図(全体)

寛永14年(1637)に、当時の将軍徳川家光へ上呈するため、長崎で作成された世界地図の下書き。
縦114cm、横120cmの和紙に国名や都市名が書き込まれている。
地図下部には朱印船の交易相手国と長崎からの距離、輸出入品目が列挙され、
当時の地理的知識や朱印船の活躍を彷彿とさせる。
この地図の原図は鎖国令(1635年発令)以前の江戸時代初期に作成されたと推定され、
同様の古地図は国内でもわずかし確認されておらず、非常に貴重なものである。

江戸時代初期の頃に
このような世界地図が
すでに作られていたの
ですね!

